



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 住友軽金属工業株式会社
 コード番号 5738 URL <http://www.sumitomo-LM.co.jp>
 代表者 (役職名) 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山内重徳
 (氏名) 坂上 淳

上場取引所 東 大

TEL 03-3436-9771

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	194,717	△0.3	10,147	△18.8	8,102	△12.9	6,401	0.0
23年3月期第3四半期	195,360	14.4	12,503	361.2	9,305	911.4	6,400	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,381百万円 (△57.8%) 23年3月期第3四半期 5,645百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.72	11.72
23年3月期第3四半期	14.81	14.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	322,090	48,811	14.9
23年3月期	306,649	35,267	11.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 47,845百万円 23年3月期 34,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	△1.7	11,200	△28.2	8,200	△28.5	6,500	△9.6	11.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	581,538,867 株	23年3月期	432,038,867 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	51,231 株	23年3月期	45,315 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	546,101,603 株	23年3月期3Q	432,000,767 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	165,000	△14.8	6,200	△25.5	10,000	57.4	18.01

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響により急激に落ち込んだ企業の生産活動がほぼ震災前の水準まで回復し、設備投資需要及び個人消費もまた持ち直しの傾向で推移してまいりました。しかしながら、歴史的な円高の継続やタイの洪水被害の影響等により景気の回復ペースは減速しており、また欧州金融不安や新興国の成長率鈍化といった世界的な景気後退への懸念も高まるなど、経済的・社会的環境は依然として不安定で厳しい状況が続いております。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、第2四半期まではアルミ缶材や空調用銅管の需要が堅調であったことや、原材料価格の上昇に伴い販売価格が上昇したこと等により前年同期を上回る水準で推移してまいりましたが、第3四半期からの全体の需要減少により販売量が減少したことなどから、売上高は194,717百万円（前年同期比0.3%減）となり、前年同期をやや下回りました。

損益面におきましては、販売量の減少やエネルギー価格の上昇等の影響により、営業利益は10,147百万円（同18.8%減）、経常利益は8,102百万円（同12.9%減）と、前年同期を下回る結果となりました。四半期純利益については、株価の大幅な下落による投資有価証券評価損（詳細は、平成23年10月7日公表の「投資有価証券評価損に関するお知らせ」をご参照下さい。）等の特別損失がありましたものの、保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益（詳細は、本日（平成24年2月9日）公表の「特別利益の計上、業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。）を特別利益に計上したこと等により、6,401百万円（同0.0%増）となり、前年同期並の利益を確保いたしました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品部門

主力分野である飲料缶向けが前年同期並の水準で推移し、また自動車用の販売が震災の影響による大幅な落ち込みから回復したものの、IT関連の需要回復が遅れたことや、第3四半期からの全体の需要減少により、販売量が前年同期を下回った結果、当第3四半期連結累計期間のアルミ圧延品部門の売上高は126,604百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は11,023百万円（同23.9%減）となりました。

伸銅品部門

当部門の主力である空調用銅管が、節電意識の高まりによる省エネエアコン向け需要の増加により好調に推移したことなどから、当第3四半期連結累計期間の伸銅品部門の売上高は37,246百万円（同14.7%増）、営業利益は1,101百万円（同519.0%増）となりました。

加工品・関連事業部門

建築関連を中心に需要が前年同期と比較して上向きであったこと等により、当第3四半期連結累計期間の加工品・関連事業部門の売上高は30,866百万円（同5.5%増）、営業利益は432百万円（同304.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、平成23年6月7日を払込期日とする公募増資（一般募集）及び平成23年7月6日を払込期日とする第三者割当増資による資金調達の実施や、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べて13,543百万円増加し、48,811百万円となりました。この結果、自己資本比率は11.3%から14.9%へ改善いたしました。

本増資は、今後拡大する世界飲料缶市場に対するグローバル供給体制構築のため、5社共同出資による持株会社Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.（旧名称：Arrow Aluminum Holding Inc.）を通じて米国アルミニウム板圧延品製造販売会社Tri-Arrows Aluminum Inc.（旧名称：ARCO Aluminum Inc.）の全株式を取得するにあたり、当社出資分の資金調達に関して様々な方法を検討した結果、資金の使途である株式取得が当社グループの成長戦略投資であること、また、財務基盤の確立・強化が当社グループの今後の企業価値及び株主価値向上に資するものと考えたことから、実施したものであります。

総資産については、上記増資資金による株式取得を実施したことや、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったことに伴い現預金及び売上債権が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べて15,440百万円増加し、322,090百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表した予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成24年2月9日）公表いたしました「特別利益の計上、業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社SKコーポレーションの株式を新たに取得したため、同社の子会社である株式会社SKスリッティング及びSK Corporation Americaとともに、連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間より、株式会社住軽テクノ安城は連結子会社である株式会社住軽テクノ名古屋と合併したため、連結の範囲から除外しております。また、株式会社住軽伸銅を当社の伸銅品部門の分社化により設立したため、連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.（旧名称：Arrow Aluminum Holding Inc.）を通じてTri-Arrows Aluminum Inc.（旧名称：ARCO Aluminum Inc.）の株式を新たに取得し関連会社となったため、それぞれ持分法適用の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,114	12,061
受取手形及び売掛金	39,546	42,157
商品及び製品	13,786	16,987
仕掛品	16,158	16,450
原材料及び貯蔵品	6,791	7,584
その他	8,157	11,086
貸倒引当金	△49	△52
流動資産合計	92,504	106,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,128	25,411
機械装置及び運搬具（純額）	15,010	12,752
土地	96,167	96,044
その他（純額）	18,366	16,588
有形固定資産合計	154,673	150,796
無形固定資産	713	828
投資その他の資産		
投資有価証券	40,702	46,882
その他	18,469	17,707
貸倒引当金	△414	△400
投資その他の資産合計	58,757	64,189
固定資産合計	214,144	215,814
資産合計	306,649	322,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,938	71,670
1年内償還予定の新株予約権付社債	5	—
短期借入金	73,426	92,301
コマーシャル・ペーパー	—	5,999
未払法人税等	1,497	302
賞与引当金	375	177
その他	14,577	13,936
流動負債合計	149,819	184,386
固定負債		
長期借入金	91,745	60,312
退職給付引当金	5,569	6,339
負ののれん	482	338
その他	23,764	21,902
固定負債合計	121,562	88,892
負債合計	271,381	273,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,966	28,459
資本剰余金	3,260	5,492
利益剰余金	12,768	22,426
自己株式	△4	△5
株主資本合計	38,989	56,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288	266
繰延ヘッジ損益	△60	△644
土地再評価差額金	9,664	10,697
為替換算調整勘定	△14,322	△18,847
その他の包括利益累計額合計	△4,430	△8,528
少数株主持分	708	965
純資産合計	35,267	48,811
負債純資産合計	306,649	322,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	195,360	194,717
売上原価	166,882	168,703
売上総利益	28,478	26,013
販売費及び一般管理費	15,975	15,866
営業利益	12,503	10,147
営業外収益		
受取利息	210	288
受取配当金	164	171
工事負担金受入額	265	936
その他	759	739
営業外収益合計	1,399	2,136
営業外費用		
支払利息	3,270	2,829
その他	1,326	1,351
営業外費用合計	4,597	4,180
経常利益	9,305	8,102
特別利益		
投資有価証券売却益	36	1,178
負ののれん発生益	—	134
その他	127	115
特別利益合計	164	1,428
特別損失		
投資有価証券評価損	237	1,258
固定資産除売却損	196	195
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,156	—
その他	401	243
特別損失合計	1,991	1,697
税金等調整前四半期純利益	7,477	7,833
法人税、住民税及び事業税	1,365	849
法人税等調整額	△337	501
法人税等合計	1,027	1,350
少数株主損益調整前四半期純利益	6,449	6,483
少数株主利益	48	81
四半期純利益	6,400	6,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,449	6,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	△21
繰延ヘッジ損益	△7	△471
土地再評価差額金	—	1,033
為替換算調整勘定	△541	△3,973
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△668
その他の包括利益合計	△804	△4,102
四半期包括利益	5,645	2,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,651	2,304
少数株主に係る四半期包括利益	△5	76

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	アルミ圧延品 部門	伸銅品部門	加工品・関連 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	133,654	32,461	29,244	195,360	—	195,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,701	698	1,084	4,484	△4,484	—
計	136,356	33,160	30,328	199,845	△4,484	195,360
セグメント利益	14,493	177	107	14,778	△2,275	12,503

(注)1. セグメント利益の調整額△2,275百万円には、たな卸資産の調整額△9百万円、セグメント間取引消去277百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,543百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	アルミ圧延品 部門	伸銅品部門	加工品・関連 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	126,604	37,246	30,866	194,717	—	194,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,063	1,038	1,040	4,142	△4,142	—
計	128,668	38,285	31,907	198,860	△4,142	194,717
セグメント利益	11,023	1,101	432	12,557	△2,410	10,147

(注)1. セグメント利益の調整額△2,410百万円には、たな卸資産の調整額△7百万円、セグメント間取引消去275百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,678百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月7日を払込期日とする公募増資（一般募集）及び平成23年7月6日を払込期日とする第三者割当増資を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が5,492百万円、資本剰余金が5,492百万円増加しております。

また、平成23年6月29日開催の定時株主総会において、準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議されたことから、資本剰余金3,260百万円を繰越利益剰余金の欠損填補に充当しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が28,459百万円、資本剰余金が5,492百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。